

【日本語訳案内】

2018年 韓国言語研究学会・済州語保全会連合学術大会
 (2018年 韓国言語研究学会秋季学術大会)
 — 消滅危機言語と多文化政策 —

- 日時：2018年12月8日(土)10:00-18:30
- 場所：国立済州大学校人文大学
- 主催：韓国言語研究学会
- 主管：韓国言語研究学会，済州語保全会

時間		大会・シンポジウム プログラム		
10:00-11:30		◎日本言語政策学会参加者 キャンパスツアー ◎韓国言語研究学会 (KALS) - 日本言語政策学会 (JALP) 交流会		
	司会者	題目	発表者	討論者
オープニング 発表 11:30- 12:20		(英韓逐次通訳学習者の非流暢性の様相)	キムウォンボ(済州大)	キムミヒョン (済州観光大)
		(清朝中国で活動した西洋宣教師達の資料を通してみた言語観の小考)	キムウンヒ(済州大)	ハンミエ(済州漢羅大)
12:20-12:40		受付・セッション案内		
12:40-12:50 (人文大学2号館 1階)		(司会：キムヤンホン) 開会の挨拶：イヨンミン(韓国言語研究学会会長)		
12:50-13:00		Coffee Break		
		言語／言語教育 (人文大学2号館2階)	社会言語学／消滅危機言語 (人文大学2号館3階)	研究会シンポジウム／言語政策 (人文大学2号館1階)
第1発表 13:00 -13:30	司会	ヤンヨンジュン(済州大)	コヨンジン(済州漢羅大)	公開シンポジウム *下記のプログラムを参照
	題目	Linguistic Proximity: the Acquisition of BECAUSE by Korean EFL learners and Japanese EFL Learners	二葉亭四迷の翻訳小説における漢字の考察	
	発表	ホンソンシム(忠南大)	イミョヒ(忠南大)	
	討論	キムウォンボ(済州大)	キムギョンドク(観光大)	
第2発表 13:30 -14:00	司会	ヤンヨンジュン(済州大)	コヨンジン(済州漢羅大)	
	題目	SOA in the syntactic position of the quantifier 'all'	(対馬観光地の韓国人観光客の対応について)	
	発表	キムヤンスン(ハンパツ大)	長谷川由紀子(九州産業大学)	
第3発表 14:00 -14:30	討論	ホンギョソン(済州大)	イムファスン(済州大)	
	司会	ヤンヨンジュン(済州大)	コヨンジン(済州漢羅大)	
	題目	Forensic Linguistics: Collaboration of Language and Law	ハンセン病療養所の言語生活	
	発表	チョギヒョン(群山大)	橋内 武(桃山学院大学)	
	討論	キムジェウォン(済州大)	イミョヒ(忠南大)	

【日本語訳案内】

14:30-14:10	Coffee Break			
第4発表 14:40-15:10	司会	キムヤンホン(済州大)	イジョンシル(済州語保全会)	公開シンポジウム
	題目	(高校英語と大学英語教育に関する体系的な文献考察からの先行研究の分析)	(消滅危機言語：沖縄の事例)	
	発表	チャンヒョンジ(鮮文大)、ソンミョンヒ(乙支大)イオンスン(東亞大)、パクジソン(評価院)	Moriyo Shimabukuro (University of the Ryukus)	
	討論	コギョンヒ(済州大)	ヤンチャンヨン(済州大)	
第5発表 15:10-15:40	司会	キムヤンホン(済州大)	イジョンシル(済州語保全会)	今千春(神田外語大学)
	題目	EMI (English-medium instruction) in Japanese higher education: from the perspective of language policies	(消滅危機言語：台湾の事例)	同化政策と「国語」の変容 ー日本語教育を問い直す場としてー
	発表	Masakazu Iino (Waseda University)	Naoki Ishigaki (Okinawa International University)	山本幹子(秀明大学)
	討論	イヨンミン(観光大)	高民定(千葉大学/通訳)	コギョンスン (在外済州人研究センター)
第6発表 15:40-16:10	司会	キムヤンホン(済州大)	キムジョンスク(済州語保全会)	今千春(神田外語大学)
	題目	(高校・大学連携の深化課程の英語科目の開発研究)	(済州語保全：これまでの10年)	言語島化するニセコ観光圏ーグローバルリゾートの言語政策を検証するー
	発表	ソンミョンヒ(乙支大)、チャンヒョンジ(鮮文大)、イオンスン(東亞大)、パクジソン(評価院)他	キムジョンミン(済州語保全会常任理事)	山川和彦(麗澤大学)
	討論	シンチャンウォン(済州大)	(済州語保全会)	コギョンスン (在外済州人研究センター)
16:10-16:20	Coffee Break			
第7発表 16:20-16:50	司会	キムヤンホン(済州大)	キムジョンスク(済州語保全会)	コギョンスン (在外済州人研究センター)
	題目	(言語学習者の言語景観の理解)	(済州語保全：これからの100年)	訪日台湾人観光客からみた中国語簡体字表記について
	発表	キムヘソン・ヤンチャンヨン(済州大)	ヤンゾンヒョン(済州語保全会理事長) ヤンヨンシク(済州特別自治道議員)	藤井久美子(宮崎大学)
	討論	キムミンギョン(済州大)	(済州語保全会)	キムジュンソプ (済州大)
17:20-17:30	総合討論 KALS-済州語保全会			
17:30-18:00	学術研究倫理教育(学術教育情報院)			
18:00-18:30	臨時総会			

【日本語訳案内】

主催：コミュニティの公共人材を対象とした多文化対応力開発プログラムの国際比較研究会

主管：韓国言語研究学会(The Korean Association for Language Studies : KALS)

公開シンポジウム「多文化社会に必要な多文化対応力と人材育成」

日 時： 2018年12月8日(土) 13:00-15:10

場 所： 国立済州大学我羅キャンパス 人文大学2号館 1階ホール

<プログラム>

1. 趣旨説明 (岩手大学 松岡洋子)
2. 多文化社会に必要な多文化対応人材ー日本、ドイツの事例からの報告ー
(岩手大学 松岡洋子 * 逐次通訳付)
3. 韓国の多文化政策と多文化理解教育 (梨花女子大学 チャンハンオブ)
4. 韓国の多文化社会に必要な人材育成 (済州市移住民センター ハンヨンギル)
5. 移住者に対する言語教育人材育成 (新潟大学 足立祐子 * 逐次通訳付)
6. 質疑応答

*このシンポジウムは韓国言語研究学会 (The Korean Association for Language Studies : KALS) 2018年研究会の特別シンポジウムとして、JSPS科研費16H05724「コミュニティの公共人材を対象とした多文化対応力開発プログラムの国際比較(研究代表者：岩手大学 松岡洋子)」の助成を受け実施します。